

インターバンクの声（2014 年 11 月 26 日）

米国では感謝祭祝日が絡み一部の米大手企業にとっては年度末でもある 11 月の最終週とあって、そもそも活発な取引を期待し難い週となっていたが、昨夜もいくつか発表された経済指標結果が強弱まちまちとあっては、ドル円相場も 118 円を中心にして上下それぞれ 30 銭程動くのがやっとなのようだった。ニューヨーク市場の開始早々に発表された第 3・四半期 GDP や 9 月のケースシラー住宅価格指数が市場の事前予想を上回る結果となったものの、その後に発表された 11 月消費者信頼感指数やリッチモンド連銀製造業指数が、予想を大幅に下回る内容とあっては、依然として市場の大半が描いているドル高相場を単純に示現する訳にはいかなかった。今日のアジア時間も目ぼしい経済指標の発表やイベントの予定もなく、ニューヨーク市場に入っの耐久財受注や新築住宅販売などに余程の想定外の数字が出て来ない限りは波乱の少ない相場になりそうだ。米国市場では、木曜日が感謝祭とあって金曜日を休みにしてしまう人たちもいつも通り多いはずだ。12 月からが文字通り仕切り直しの相場になりそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。